

記入例

受付番号

受付月日

令和〇年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書（組織基盤整備コース）

1 申請団体概要

① 団体名	(フリガナ) ヒラツカカンキョウビカノカイ ひらつか環境美化の会
② 所在地	平塚市八重咲町〇〇-〇
③ 代表者名	平塚 花子
④ 設立年月	2000 年 1 月 (法人格取得年月 年 月)
⑤ 会員数	個人= 15 人 (うち平塚市民 13 人) 団体= 団体
⑥ ホームページ	http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp
⑦ 設立目的・経緯 団体の規約・定款等に記載された目的を記入してください。	〇〇川のサイクリングロードの美化活動により、市民が、通学、通勤、散歩、ジョギングなど気持ちよく利用できるようにし、地域の大切な資源として、〇〇川を守る。
⑧ 活動の概要・実績 過去2年程度の主な活動の内容・対象者・実施時期などを分かりやすく記入してください。	毎月第1日曜日に、〇〇川のサイクリングロードでお散歩ゴミ拾いを実施。 令和●年 12回実施 延参加者95名 令和△年 10回実施 延参加者81名(令和〇年1月末現在) また、令和●年度から県からの委託を受けて、夏期に〇〇川の〇〇地区の土手の草刈りを行っている。 令和△年5月～9月 7回実施 延参加者53名

2 補助申請の内容

① 事業名	情報発信の強化で人材不足解消と知名度アップ
② 申請額	16 万円（20 万円以内）※申請は1 万円単位。
③ 団体の目的 団体の設立の社会的背景や経緯、団体の目的・ミッションを詳しく記入してください。	〇〇川のサイクリングロードは多くの市民に通学、通勤、散歩やジョギングなどで利用されている。もともとは、犬の散歩のついでにゴミ拾いを始めたのがきっかけだったが、地域でゴミ拾いの賛同者が増えた。 〇〇地区の道路やサイクリングロードのゴミ拾いの他、土手の草刈りなど、市民の方が気持ちよく利用できるようにまちの美化活動を行うことを目的に団体を設立した。
④ 現在の活動と将来の目標	現在は、月に1回のゴミ拾いと5～9月に草刈りを実施している。 今後は、ゴミ拾いの回数を増やしてゴミの落ちていないきれいなサイクリングロードを維持したい。また、地域の方や、〇〇川サイクリングロードの利用者に活動を知ってもらい、市民の美化意識の向上を目指したい。
⑤ 現在の課題 団体の目的・ミッションの達成の妨げとなっている、組織基盤整備面での課題を記入してください。	・現在は、会員が15名いるが、〇〇川サイクリングロードは全長〇〇〇メートルあり、ゴミ拾い、草刈りの人手が足りていない。 ・会員の高齢化が問題となり、夏場の暑い時期の作業は会員の健康面でのリスクを抱えながら実施している。 ・草刈りに使う刈払機を使用できる人材が不足しているため、作業効率が悪い。 ・情報発信が足りず市民の美化意識の啓発ができていない。
⑥ 課題の原因 ⑤の課題の原因がどこにあるか記入してください。	・若い人が参加したいと思える仕掛けがない。 ・若い人に伝える情報発信ツールがない。 ・サイクリングロード利用者や地域の住民に活動を伝えるツールが不足している。 ・刈払機の使い方を教える仕組みがない。
⑦ 基盤整備の目標 ⑤の課題の原因を踏まえ、課題を解決するための目標を記入してください。（数字的な目標も含む）	・ホームページ、パンフレットを作成し、情報発信を強化します。 ・会員を15人増やします。 ・特に、50代以下の会員を10名増やします。 ・刈払機を使用できる人を10名増やします。 ・サイクリングロード利用者や地域の住民の活動認知度を高めます。

⑧ 補助を必要とする理由	ホームページ作成のための外部研修、団体の見やすいパンフレットの作成、刈払機講習会の費用として17万6千円必要ですが、当会の会費、寄附等だけでは賄うことができないため、16万円の助成をしていただきたいと思います。
⑨ 基盤整備の方法 ⑤の課題への具体的な対策や解決方法を記入してください。	①ホームページの作成による情報発信強化 若い会員を獲得するためには、若い人が使うインターネットでの情報検索に対応した情報発信が必須であると考えています。 現在の会員にはホームページの作成、更新のスキルを持った会員がいないので、外部研修の受講による人材育成を行います。 複数の担当者が分担して発信することで、会員が活動に参加できない場合のリスク管理と、ホームページの更新頻度の確保をしたいため、2人の会員を受講させたいと考えています。 ②パンフレットの作成による情報発信強化 ホームページは、情報検索をしてもらわないと情報を見てもらえないので、地域の住民やサイクリングロード利用者へ渡せる団体の活動が分かるパンフレットを作成配布(1,000枚)し、活動の認知度を高めます。 ③刈払機使用講習会の実施 刈払機を使用できる会員、若い会員の増加を目的に講習会を実施し、一般の方も参加できるようにします。
⑩ 実施体制 組織基盤整備に関する責任者、実務担当者等を記入してください。	全体統括・進行管理:平塚 花子 ホームページ担当:〇〇 太郎、〇〇 次郎 パンフレット担当:〇〇 三郎 刈払機講習会担当:〇〇 四郎
⑪ 年間スケジュール ⑨の組織基盤整備の方法を進めるための1年間のスケジュールを具体的に記入してください。	①ホームページ作成 令和〇年5月～6月 外部研修受講 令和〇年7月～8月 ホームページ作成 令和〇年9月 ホームページ公開 令和〇年10月～ 定期的に情報を更新 ②パンフレット作成 令和〇年4月～5月 パンフレット内容検討 令和〇年6月 パンフレット原稿作成 令和〇年7月～8月 パンフレットデザイン委託 令和〇年9月 パンフレット印刷発注 令和〇年10月 パンフレット配布開始 ③刈払機講習会 令和〇年5月～6月 地域住民に案内(チラシ) 令和〇年7月～8月 刈払機講習会開催(年2回)

⑫ 期待される効果 組織基盤整備により、どのような効果や成果が期待できるかを具体的に記入してください。	当会の活動は、月に1～2回と少ないので、活動を知ってもらえる機会が少ないです。ホームページやパンフレットを作成し情報発信を強化することで、活動の無い日にも、地域の住民やサイクリングロード利用者へ活動を知ってもらえるようになります。また、課題であった若い人への情報発信ツールが整備され、会員が増えることを期待しています。 また、刈払機講習会を実施することで、会員のスキルアップにつながるとともに、一般の方を受け入れることで、刈払機の使い方が分からない若い人が講習会に参加し、活動に共感して会員になってもらえることを期待しています。 会員が増えることで、ゴミ拾い活動が増え活動も活発になります。また、情報発信の強化により地域の住民やサイクリングロード利用者の活動の認知度が高まり、市民の美化意識の向上にも貢献できます。
⑬ 組織基盤整備全般に関わるスケジュール 補助年度の前から団体の組織基盤整備を進めている、また、補助後も進めていく場合（補助金申請が複数年度続いている事業の一部である場合）は、組織基盤整備終了までのスケジュールを記入してください。（補助金は当年度に実施されるもののみに対して支給されます）	情報発信の強化、人材不足解消は長期的な取り組みが必要なため、継続して実施していきます。 （令和○年度） ・ホームページ作成 ・パンフレット作成配布（1,000枚） ・刈払機講習会実施 （令和□年度） ・若い会員の力を使った新たな情報発信の強化（フェイスブック、ツイッター、ブログなど） ・刈払機講習会の継続実施による新規会員獲得 ・地域の住民やサイクリングロード利用者が参加できる美化イベントの実施による美化意識啓発、活動認知度向上 ※令和△年度は、会員増による会費と、講習会、イベント参加者からの寄附を財源として実施する見込みです。

3 収支予算書（組織基盤整備に限定した予算）

① 収 入	項 目	金額	具体的な内容（積算根拠等）		
	補助金	160,000 円	平塚市市民活動推進補助金		
	会費	15,000 円	15名×1,000円(会員増分)		
	寄附	1,000 円	刈払機講習会参加者等から		
		円			
		円			
	収入合計	176,000 円			
② 支 出	項 目	事業費	うち対象経費	うち補助金	具体的な内容（積算根拠等）
	外部研修費	100,000 円	100,000 円	100,000 円	ホームページスキル外部研修受講料 50,000円×2人
	委託料	50,000 円	50,000 円	50,000 円	パンフレットデザイン委託料 50,000円
	印刷費	10,000 円	10,000 円	10,000 円	カラ-A4両面刷り 10円×1,000枚＝10,000円
	保険料	10,000 円	10,000 円	0 円	刈払機講習会参加者保険料 1,000円×5人×2回＝10,000円 会費から充当
	燃料費	6,000 円	0 円	0 円	刈払機講習会刈払機燃料費 ガソリン10L 缶3,000円×2缶 会費、寄附から充当
		円	円	円	
		円	円	円	
	支出合計	176,000 円	170,000 円	160,000 円	

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。
 ※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。